

高耐久上層路盤用混合物専用アスファルト

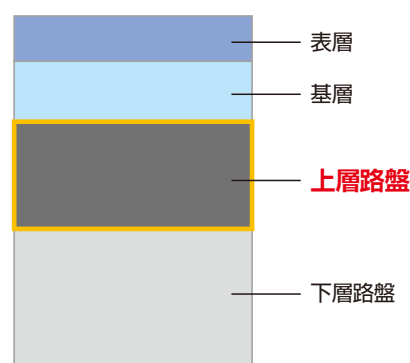
ハイモジュラスファルト

ハイモジュラスファルトは、高耐久上層路盤用混合物に求められる性状を満足する専用のアスファルトです。舗装の高耐久化、下層路盤への負担軽減やライフサイクルコストの低減を可能とし、**舗装構造物全体での長寿命化**に寄与します。



適用箇所

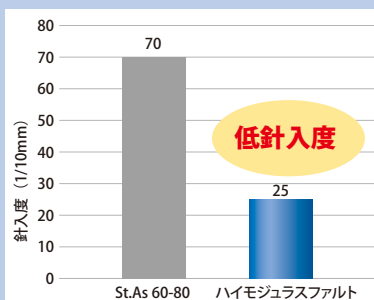
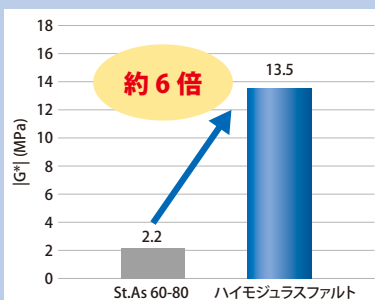
高速道路及び主要幹線道



ハイモジュラスファルトの特徴

高剛性

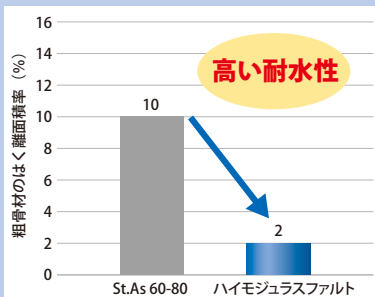
非常に高い剛性を有しています。
舗装体上部に対する支持力の向上および
下層路盤への負担低減に寄与します。



DSR (Dynamic Shear Rheometer : ダイナミックシアレオメーター) による動的粘弾性評価 測定温度: 20°C

耐水性

従来のストレートアスファルトよりも
耐水性に優れています。



「ハイモジュラスファルト」は
従来のストレートアスファルトや
ポリマー改質アスファルトとは
異なる性質を持つ
新しいアスファルトです。

NEXCO 試験法 201

配合設計など室内での 混合物作製条件

項目		管理条件
骨材温度	℃	170～180
バインダ加熱温度	℃	155～165
混合温度	℃	155～165
締固め温度	℃	145～155

(参考) プラントでの 混合物作製条件

項目		管理条件
骨材温度	℃	170～190
バインダ加熱温度	℃	155～165
混合温度	℃	155～170
ドライミキシング	秒	5
ウェットミキシング	秒	40

ご使用の際には、試験練りや試験施工を行い、混合物の性状を直接確認してからご使用をお願いいたします。

(参考) 敷均し・転圧温度

項目		管理条件
敷均し	℃	140～160
初期転圧	℃	120～150
二次転圧	℃	80～110
仕上げ転圧	℃	60～80

舗設につきましては、通常の加熱アスファルト混合物と同様であり、特別な手法や機械などを使用せず施工可能です。

取扱注意事項

安全に係る詳細な情報は、SDS「安全データシート」をご参照ください。